

# 令和4年度第1回稲毛区支え合いのまち推進協議会 議事要旨

## 1 日 時

令和4年8月10日（水）10時から12時まで

## 2 場 所

稲毛保健福祉センター3階 大会議室

## 3 出席者

- (1) 委 員 荒川利重委員、井出孝子委員、伊藤正樹委員、岩上章子委員、岡山尚美委員、神田勇委員、工藤和博委員、工藤嘉生委員、佐久間文子委員、鈴木金作委員、関谷輝市委員、内藤八洲夫委員、深味肇委員、星野正子委員、眞智洋二委員、松川智子委員、松野陽一委員、宮永稔委員、森松助委員

※25名中 19名が出席

## 4 会議の概要

### (1) 副委員長の選任について

副委員長に岡山尚美委員が全会一致で承認された。

### (2) 第5期稲毛区支え合いのまち推進計画について

事務局から、本年3月に第5期稲毛区支え合いのまち推進計画を策定したことを報告し、「具体的な取組み」及び「重点取組地区」については令和5年度中に実施する中間見直しまでに区支え合いのまち推進協議会で検討を行い策定することとした。

### (3) 令和3年度を取組状況について

令和3年度については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により第5期計画策定が一年延期となったため、各地域の実情に応じた取組状況について区支え合いのまち推進計画に準じてまとめたものを報告した。取組状況については、全会一致で承認された。

伊藤委員から、地域活動に携わる人材の育成のため、若年層向けの意識調査を検討してほしいとの意見があった。

### (4) 第5期稲毛区支え合いのまち推進計画の中間見直しについて

第5期稲毛区支え合いのまち推進計画の中間見直しに向けたスケジュールを説明し、既に決定している基本目標、基本方針、施策の方向性を踏まえた上での具体的な取組み（案）、活動事例（案）を事務局から提案した。委員から次のような意見があった。

なお、会議当日の意見及び後日事務局あて送付された意見をもとに、次回令和5年1月頃に開催する区支え合いのまち推進協議会において具体的な取組み、活動事例を決定することを予定している。

<基本方針1 みんなの様々な居場所づくり>

- ・岩上委員→NPO法人は地域の方々と共に活動していきたい。学生など若い世代の担い手の活動を模索していければと考えている。
- ・工藤（和）委員→あんしんケアセンター園生として、交流サロン、情報発信の場、体操教室等で地域の資源を活かした活動を行っている。

<基本方針2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり>

- ・眞智委員→地域ケア会議について、計画に書く以上は、頻度・開催内容等をもっと明確にして対応すべきではないか。
- ・岡山委員→地区部会、町内自治会、民生委員が連携して、「支え合いの会」を結成し、地域の困りごと（電球交換、ごみ捨て、買い物等）の支援をしている。年間 500 件程。

<基本方針3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり>

- ・眞智委員→避難行動要支援者名簿の協定締結だけでなく、何か次の発展段階として何か示していないといけないのではないか。介護保険サービスを受けている方の個別避難計画など福祉避難というのは難しい問題ではあるが、現場の稲毛区だけではなく、本庁の方でもこういう話を議論してほしい。
- ・宮永委員→避難行動要支援者名簿の協定を結ぶことが目的ではないため、その協定の活用を図るという文言をするのはどうか。
- ・伊藤委員→自治会で防災担当をしているが、要介護者を地区の住民で 100%安全確保することは無理である。それを踏まえ、災害時に市は何をやるということを盛り込んでほしい。
- ・松川委員→私の息子は要援護者であるが、自宅近くの学校が避難場所となっており、異常時にたくさんの人が入っているところにはその中には入っていけないということも知っていただきたい。災害時には、避難所には行けないと拠点福祉避難所に受け入れてもらえない。こうしたことも踏まえ、自分たちの情報がうまく伝達させる仕組みがあれば助かる。

**(5) 支え合いのまち稲毛（稲毛区推進協だより）について**

支え合いのまち稲毛 第29号（案）について、事務局及び記事作成者から説明を行い、全会一致で承認された。